

第84期

中間報告書

(平成28年4月1日から)
(平成28年9月30日まで)



中日本興業株式会社

平成28年12月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社は第84期第2四半期累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目 次

事業の概況	2
四半期貸借対照表	5
四半期損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ	

事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用ならびに所得情勢の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、英国のEU離脱問題、中国をはじめとするアジア新興国の景気下振れの懸念等により、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社におきましては、お客様に感動していただくため、引き続き『感動の創造』がキーワードとなる経営をします」という方針のもと、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、商品・環境を提供し、感動の創造に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は20億31百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は97百万円（前年同期比18.0%減）、経常利益は85百万円（前年同期比29.7%減）、四半期純利益は1億25百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

なお、当社の中間配当金につきましては、11月11日の取締役会におきまして、1株あたり30円とし、支払い開始日を12月2日と決定いたしております。

以下、事業別の概況をご報告いたします。

【シネマ事業】

映画興行界におきましては、洋画に大ヒット作が乏しかったものの、多数のアニメ作品が上半期の興行収入上位を占めるなど好調に推移し、全体の興行収入は昨年同時期を上回る水準でした。特にアニメ作品「君の名は。」は、当初10代・20代のお客様を中心に評判を得ておりましたが、今や幅広い年齢層に支持され、一昨年の「アナと雪の女王」に迫る勢いを見せております。

このような状況のなか当事業では、平成28年7月15日には名古屋駅前のシンフォニー豊田ビルに「ミッドランドスクエア シネマ2（7スクリーン）」を開業し、既存の「ミッドランドスクエア シネマ」と合わせて名古屋市内最大の14スクリーン体制とし、シート・音響・映像等のすべてがプレミアムな映画館をご提供させていただきました。さらに、上質なアート作品をお届けする「アートシネマ・スクエア」レーベル、様々なアニメ作品をお届けする「アニメーション・スクエア」レーベルという2つのレーベルを立ち上げ、他に、「シネマ歌舞伎」やライブビューイング等、様々なジャンルのエンターテインメント作品も提供し、あらゆる映画ファンの期待に応える多彩な作品をお届けしてまいりました。

また、会員システムの見直しを図り、会員数の拡大にも努めてまいりました。

主な上映作品といたしましては、洋画では、7月公開の「インディペンデンス・ディ：リサーチェンス」、「アリス・イン・ワンダーランド／時間の旅」、8月公開の「ジャングルブック」、邦画では、6月公開の「植物図鑑 運命の恋、ひろいました」、7月公開の「HIGH&LOW THE MOVIE」、8月公開の「シン・ゴジラ」、アニメでは、4月公開の「ズートピア」、7月公開の「ファインディング・ドリー」、「ONE PIECE

FILM GOLD]、8月公開の「君の名は。」、ODS（映画以外のデジタルコンテンツ）では、シネマ歌舞伎「歌舞伎NEXT 阿弭流為」、「アイドルマスター・シンデレラガールズ」のライブビューイングなどの番組を編成いたしました。

そのほか、「ミッドランドスクエア シネマ2」においては、毎週火曜日から木曜日の夜に、人気アイドルによるスクリーン映像を使った映画館初のライブイベントを開催するなど、新しい試みにも挑戦し、今まで映画館を利用しなかった新しいお客様の発掘にも努めてまいりました。

また、平成28年9月16日にはシンフォニー豊田ビルに、映画館に持ち込んでいただいたり、上映後にご利用いただける店舗として、「LA BOBINE ガレットカフェ」がオープンいたしました。名古屋初、ラップドガレット&クレープの専門店として、食と空間を楽しむためのカジュアルでありながら上質な店舗をご提供させていただきました。

この結果、当事業では、売上高は14億93百万円、営業利益は93百万円となりました。

なお、名古屋駅前センチュリー豊田ビルの「ピカデリー」は、シネマ事業の効率化を図るため、平成28年6月30日をもって閉館いたしました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi. Coo.」におきましては、地域密着型の運営に心掛け、メニュー・サービスの一層の充実を図ってまいりました。

一方、温浴部門の名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」、および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」におきましては、競合店舗が多い中、近隣の顧客開発も強化し、引き続き地域密着型の運営を心掛け、店舗独自のイベントの実施やサービスの充実を図り、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

この結果、当事業では、売上高は3億59百万円、営業損失は14百万円となりました。

【アド事業】

当事業におきましては、さらに商材研究と開発を行うことにより、競争力を上げ、積極的な営業展開で商圏の拡大を図ってまいりました。得意分野の映画宣伝や関連サイン工事をさらに伸ばし、質の向上とともに、売上の上積みを目指してまいりました。

この結果、当事業では、売上高は1億78百万円、営業利益は19百万円となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、景気の回復基調が続いているものの、海外の政治情勢等の不安要素もあり、先行き不透明な状況は依然として続くものと思われま

当社におきましても、厳しい経営環境が続くものと思われま

スクリーン増に伴い、そのスケールメリットを今まで以上に発揮できるよう番組編成ならびに上映を行うとともに、お客様のニーズに応えるサービスの提供に努めてまいります。

当下半期の予定上映作品といたしましては、洋画では、11月公開の「ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅」、12月公開の「ローグ・ワン/スター・ウォーズストーリー」、「パイオハザード ザ・ファイナル」、邦画では、12月公開の「海賊と呼ばれた男」、「僕は明日、昨日のきみとデートする」、3月公開の「3月のライオン」、アニメでは、12月公開の「妖怪ウォッチ3」、「ポッピンQ」、3月公開の「モアナと伝説の海」、ODSでは「シネマ歌舞伎」、「MET ライブビューイング」などの幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

また、引き続きライブイベントを実施するほか、落語、学術分野の講演会など、幅広いスクリーンの活用を模索し、他のシネコンにない独自の番組を企画してまいります。

リラクゼーション事業では、感動を提供できるおもてなしを心掛けるとともに、積極的なイベントの実施やサービスの提供で、売上向上に努めてまいります。また、近隣営業にて新規顧客開発にも注力してまいります。

なお、「松竹温泉 天風の湯」は、経営資源の選択と集中を強化し、今後一層名古屋駅前を核とした事業展開をするため、平成29年1月1日をもって事業譲渡をすることとなりました。

アド事業では、大きく拡がりを見せた名古屋駅前の営業強化を図るとともに、得意分野の映画宣伝を中心に、引き続き全国的にも積極的な営業展開を図り、売上向上に努めてまいります。

サービス業を営んでいる当社では、お客様に選ばれる施設を目指し、一層の精進をしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

四半期貸借対照表

(平成28年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,502,896	流 動 負 債	1,016,588
現金及び預金	862,040	買掛金	366,698
売掛金	211,175	1年内返済予定の長期借入金	122,258
有価証券	100,000	リース債務	92,029
商品	9,710	未払法人税等	63,761
前払費用	38,597	未払費用	139,621
預け金	62,362	賞与引当金	15,235
繰延税金資産	9,814	その他の	216,984
その他	210,801		
貸倒引当金	△1,606		
固 定 資 産	4,142,228	固 定 負 債	783,406
有 形 固 定 資 産	(3,012,239)	長期借入金	83,380
建物	1,965,506	リース債務	263,776
構築物	45,360	退職給付引当金	60,077
機械装置	236,296	長期未払金	39,500
車両運搬具	257	資産除去債務	105,784
器具備品	129,922	受入保証金	191,280
土地	634,896	繰延税金負債	39,608
無 形 固 定 資 産	(111,082)	負 債 合 計	1,799,994
電話加入権	1,147		
ソフトウェア	109,502	純 資 産 の 部	
その他	432	株 主 資 本	3,711,095
投資その他の資産	(1,018,906)	資本剰余金	(270,000)
投資有価証券	279,553	資本剰余金	(13)
関係会社株式	10,000	資本準備金	13
差入保証金	721,414	利 益 剰 余 金	(3,508,629)
長期前払費用	7,939	利益準備金	67,500
		その他利益剰余金	3,441,129
		配当準備積立金	330,047
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	731,081
		自 己 株 式	(△67,547)
		評価・換算差額等	134,034
		その他有価証券評価差額金	(134,034)
		純 資 産 合 計	3,845,130
資 産 合 計	5,645,125	負 債 純 資 産 合 計	5,645,125

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(平成28年4月1日から
平成28年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		2,031,132
売 上 原 価		1,024,872
売 上 総 利 益		1,006,260
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		908,602
営 業 利 益		97,657
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	2,836	
協 賛 金 収 入	21,155	
雑 収 入	1,517	25,510
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	603	
開 業 費 償 却	35,794	
雑 損 失	1,289	37,687
経 常 利 益		85,480
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益		203,195
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	40,796	
固 定 資 産 処 分 損	65,193	105,990
税 引 前 四 半 期 純 利 益		182,685
法 人 税 等		57,387
四 半 期 純 利 益		125,297

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (平成28年9月30日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 58名

■ 主要な事業所 (平成28年9月30日現在)

<映画館>

ミッドランドスクエア シネマ (14) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji. Co. 名古屋市中村区
LA BOBINE ガレットカフェ 名古屋市中村区

<温浴施設>

太平温泉 天風の湯 名古屋市中川区
松竹温泉 天風の湯 愛知県江南市

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区

- (注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」、および「LA BOBINE ガレットカフェ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ(東京都中央区)との共同事業体が運営しております。
3. 「松竹温泉 天風の湯」は、平成29年1月1日をもって事業譲渡いたします。

■ 役員（平成28年10月16日現在）

代表取締役
社長

服部 徹

常務取締役

原田 克己

感動創造本部本部長

取締役

三田 則男

感動創造支援本部本部長、
経営企画部上席部長、経理部上席部長

取締役

山口 千秋

（社外取締役）

取締役

大谷 信義

（社外取締役）

常勤監査役

佐藤 桂一

監査役

新井 紀夫

（社外監査役）

監査役

岡本 安史

（社外監査役）

執行役員

貴田 吉晴

感動創造支援本部副本部長、
経営企画部部長、総務部部長

執行役員

小塚 康

感動創造本部副本部長、
興行部上席部長、リラクゼーション部部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報がご覧いただけます。

<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業

検索

■ 株式の状況（平成28年9月30日現在）

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	531,057株（自己株式8,943株を除く）
株主数	2,813名（前期末比1名減）

■ 大株主（平成28年9月30日現在）

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	30,000株	5.64%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
岡 本 藤 太	7,000株	1.31%
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
服 部 清 純	4,500株	0.84%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.80%
服 部 純 子	4,000株	0.75%

（注）持株比率は自己株式(8,943株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況（平成28年9月30日現在）

所 有 者	株 式 数	比 率
金 融 機 関	5,400株	1.00%
金 融 商 品 取 引 業 者	33株	0.01%
そ の 他 の 法 人	101,800株	18.85%
外 国 法 人 等	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	423,824株	78.48%
自 己 名 義 株 式	8,943株	1.66%
計	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様には8, 9, 10月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および11, 12, 翌年1月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様には2, 3, 4月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および5, 6, 7月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚	（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚	（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚	（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚	（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚	（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚	（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚	（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚	（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

ご利用要領

- 「株主ご優待券」を下記映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

映画館		住 所	電話番号
ミッドランドスクエアシネマ	1～7番スクリーン	名古屋市中区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F	(052) 527-8808
	8～14番スクリーン	名古屋市中区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2F	
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911

※プレミアムシートのご利用、3D映画のご鑑賞等の場合には、ご利用にあたり別途料金のご負担が必要となります。詳細は、各劇場にお問い合わせください。

- 「株主ご優待券」を下記スーパー銭湯にてご利用の場合、「株主ご優待券」1枚と下記両店共通の「全日ご招待券」3枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は、交換日の翌月末日となります。）

スーパー銭湯	住 所	電話番号
太平温泉 天風の湯	名古屋市中西区平戸町2-1-10	(052) 355-4126
松竹温泉 天風の湯	愛知県江南市前飛保町栄378-15	(0587) 53-4126

※「松竹温泉 天風の湯」は、平成29年1月1日をもって事業譲渡いたします。

※交換されました全日ご招待券の「松竹温泉 天風の湯」でのご利用は、平成28年12月31日までとなります。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	http://www.nakanihonkogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>